＜科学的思考の基盤＞

<table>
<tr><td>科目名</td><td colspan="2">論理学</td><td>対象学生・時期</td><td>1 年生・前期</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>講義時間（単位）</td><td>15 時間（1）</td></tr>
<tr><td>講師名</td><td colspan="4">非常勤講師</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="4">1. 論理的思考及びその言語的表現について学ぶ
2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う
3. 事実を正しく解釈し言語的に表現する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">主な学習内容</td><td>授業形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="2">論理学の原理と概念</td><td colspan="2">1. 人間の思考
2. 論理的思考</td><td rowspan="7">講義
演習</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">3. 演繹的理論・帰納的推論の方法</td></tr>
<tr><td>3</td><td rowspan="2">論理的思考と自己表現</td><td colspan="2">1. 道筋を立てた表現の仕方</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2">2. 論理的な発言の基礎
3. 論理的に話すための用語</td></tr>
<tr><td>5</td><td rowspan="3">論理的記述法</td><td colspan="2">1. 論文の構成と組み立て
2. 論文の内容の基本</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="2" rowspan="2">3. 論文の読み方と活用</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>7.5</td><td>単位認定試験</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">レポート</td></tr>
<tr><td>使用ﾃｷｽﾄ</td><td colspan="4">調べる技術・書く技術　講談社</td></tr>
<tr><td>自己学習時間</td><td>30 時間</td><td>事前・事後学習</td><td colspan="2">テキストで事前学習・事後学習を行う。</td></tr>
</table>

科目名	情報科学	対象学生・時期	1 年生・前期
		講義時間（単位）	30 時間（1）
講師名	非常勤講師		
科目目標	医療と看護の高度情報化に対応できるようになるために以下のことを目標として学ぶ １．看護師にとっての情報の活用・管理と情報倫理の必要性を学ぶ ２．看護の現場において必要とされるコンピュータやインターネットの知識と Word、Excel、Powerpoint の活用ができる ３．統計学の基本的知識と Excel による統計解析の基礎技術を習得する		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 高度通信情報社会と医療・看護の情報化	(1) 高度情報通信社会とコンピュータ (2) 高度情報通信社会への対応のしかた (3) 看護における医療 ICT とは (4) 看護師にもパソコンスキルが求められる理由 (5) AI 時代の看護はこうかわる (6) AI で看護記録にかかる時間が半分以下になった	講義 演習
	2. コンピュータの動作原理	(1)パソコンの基本的な構成内容 (2)Windows 上でプログラムが実行されるまでの処理の流れ	
2～3	3. ネットワークリテラシー	インターネットの正しい使い方 (1)インターネットの仕組み (2)ホームページ，電子メール，ブログの仕組み (3)電子掲示板，SNS，ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｻｲﾄの仕組み 利用する上でのモラル (1)ネットワーク+エチケット＝ネチケット (2)インターネットの安全な歩き方 (3)ウイルスに感染しないために (4)詐欺や犯罪に巻き込まれないために (5)SNS 利用上の注意 情報倫理と情報セキュリティ (1)インターネット上の倫理問題 (2)ネットワーク社会の不正行為に対する法律 (3)事故・被害の事例とトラブルの相談窓口	
4~11	4. コンピュータリテラシー	(1)Word 基本操作 (2)Excel の基本操作 (3)テーブルとオートフィルタ (4)データ入力の技 (5)ピボットテーブルの使い方 (6)ピボットテーブルでアンケート分析 (7)アンケートの相関係数 (8)PowerPoint の基本操作	

12~13	5．統計解析の基礎(1)	(1) 平均、度数分布、分散、標準偏差 (2) アンケート分析における相関係数	
14~15	5．統計解析の基礎(2)	(1)相関係数の意味	
評価方法	講義中に行う演習問題の成績，出欠状況，受講態度にもとづき総合的に評価を行う。		
使用ﾃｷｽﾄ	世界一やさしいエクセル ワード パワーポイント 2019/Office365 対応　インプレス プリント「情報科学」を配布する		
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキスト及びプリントで事前学習･事後学習を行う。

-

科目名	人間工学	対象学生・時期	1年生・前期
		講義時間（単位）	15時間（1）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 人間を取り巻く環境や日常生活動作、作業の効率性・安全性について力学的視点から理解する		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	人間の形態的特徴と筋力的特徴	1. 力とつりあい 1）質量と重力加速度 2）ベクトルの加法と減法	講義
2		2. 動体力学 1）運動の法則とトルク（回転効果） 2）てこの原理、摩擦力	
3		3. 姿勢と生活動作 1）力学的エネルギー 2）重心・支持基底面	
4		3）重心と安定性 4）姿勢と動作	
5	ユニバーサルデザイン	1. 人体寸法と機器・道具との関係 2. バリアフリー・ノーマライゼーション・ユニバーサルデザインについて	
6	安全管理	1. 医療における人間工学の活用 2. 作業の安全性	
7		3. 事故防止	
7.5	単位認定試験		

評価方法	筆記試験		
使用ﾃｷｽﾄ	看護動作を助ける基礎人間工学　東京電機大学出版局		
参考文献	系統看護学講座　物理学　医学書院		
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

＜人間と生活・社会の理解＞

科目名	教育学	対象学生・時期	1 年生・後期
		講義時間（単位）	30 時間（2）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 人間形成における教育の機能と役割を理解する 2. 人間の持つ潜在力を学び、他者と協働する「生きる力」の意義と方法を理解する 3. エビデンスに基づく「看護と教育」とは何かを理解する		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	人間の成長と教育を成り立たせるもの	1. 教育学とは何か・教育学的思考 2. 教育とは何か 3. 子ども観と発達観	講義
2		4. 教育の組織化―学校とは何か 5. 学ぶこと、教えること 6. 養護・ケアについて	
3	教育の営みを考える	1. 家庭と学校、そして地域・子ども 2. 教育の目標・目的を考える	
4		3. 評価を考える	
5	現代教育の課題（1）	1. 現代の教育環境の変化 2. キャリア教育を考える	
6	現代教育の課題（2） ―ジェンダー問題 ―教育史のおしえ ―困難を抱える子どもたち	1. ジェンダーとセクシュアリティー 2. 性の多様性	
7		3. 日本の教育史（戦前・戦後） 1）近代公教育（学制―国民学校―戦後） 2）戦後学校教育の体制と改革のうごき 4. 特別ニーズ教育	
8	未来を考える条件	1. インクルーシブ教育 1）障がいと向き合う 2）学校外教育（生涯学習） 2. シティズンシップ教育 1）リテラシー 2）アンドラゴジー	
9		3.教育振興基本計画から未来の教育へ	
10			
12	教育の 21 世紀を展望する	1. 学校化社会・ICT・DX を考える 2. コミュニティスクール・社会教育 3. 権利主体としての子ども	
13			
14			
15	単位認定試験 まとめ	1. 認定試験実施 2. まとめ・「教育学と私（省察）」	

評価方法	筆記試験		
使用ﾃｷｽﾄ	系統看護学講座　基礎　教育学　医学書院		
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う

<table>
<tr><td>科目名</td><td colspan="2">心理学</td><td>対象学生・時期</td><td>1 年生・前期</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>講義時間（単位）</td><td>30 時間（1）</td></tr>
<tr><td>講師名</td><td colspan="4">非常勤講師</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="4">1. 人間の心の仕組みや、状況によって変化する心と身体の様態を学ぶ
2. 自己理解・他者理解の方法を理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">主な学習内容</td><td>授業形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td>心理学とは</td><td colspan="2">1 心理学とその歴史
2. 心の動き
3. 心と行動のメカニズム</td><td rowspan="14">講義</td></tr>
<tr><td>2</td><td rowspan="12">心理学の基礎概念</td><td colspan="2" rowspan="2">1. 知覚の心理</td></tr>
<tr><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2" rowspan="2">2. 記憶の心理</td></tr>
<tr><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="2" rowspan="2">3. 発達の心理</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td colspan="2" rowspan="2">4. 学習の心理</td></tr>
<tr><td>9</td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="2">5. 性格心理学</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="2">6. 社会心理学</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="2">7. 臨床心理学の基礎</td></tr>
<tr><td>13</td><td>心理学における問題</td><td colspan="2">1. コミュニケーションの心理と病理
2. 人格の正常と異常</td></tr>
<tr><td>14</td><td>人格へのアプローチ</td><td colspan="2">1. 心理・発達・知能・人格検査
2. カウンセリング</td></tr>
<tr><td>15</td><td>単位認定試験
まとめ</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>使用ﾃｷｽﾄ</td><td colspan="4">系統看護学講座　心理学　医学書院</td></tr>
<tr><td>自己学習時間</td><td>15 時間</td><td>事前・事後学習</td><td colspan="2">テキストで事前学習・事後学習を行う。</td></tr>
</table>

科目名	社会学	対象学生・時期	1 年生・前期
		講義時間（単位）	15 時間（1）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 社会的存在としての人間を理解する 2. 家族の機能について理解する 3. 社会の構造・機能や変化を通して、個人・家族・集団の関係を多角的に学ぶ 4. 世界の様々な民族の社会・文化を学び、自らの文化を考える		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	人間と社会	1. 社会学とは 2. 社会学的想像力を養う 3. 現実社会での役立ち方 4. 人間とは何かー社会と文化 5. 人間とは何かー社会化	講義
2		6. 人間のライフサイクル 7. 個人と社会 8. 集団と社会 9. ジェンダー	
3	家族の機能と役割	1. 家族とは 2. 家族の様々な形 3. 日本の家族の変化 4. 家族の機能と役割 5. 家族にまつわる様々な問題	
4	地域社会	1. 地域社会とは 2. 地域社会の歴史的変遷 3. 集団の機能と変化 4. 地域における人間関係	
5		5. 高度経済成長と地域社会 6. 都市化と都市的生活様式 7. 自助・互助・共助・公助の意義と役割	
6	職業と社会	1. 職業とは 2. 職業と職業集団	
7	現代社会と文化の特徴	1. 現代社会の特徴 2. 現代社会の形成過程 3. 異なる文化・価値観	
7.5	単位認定試験		

評価方法	筆記試験		
使用ﾃｷｽﾄ	資料配布		
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

科目名	倫理学	対象学生・時期	1年生・前期
		講義時間（単位）	30時間（2）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 倫理的なものの見方、考え方の基礎知識を学び、人間としてのあり方・生き方について考える 2. 相手を尊重し、倫理に基づく行動の基礎を身につける		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	倫理「学」とは何か	1. ガイダンス（成績評価方法など） 2. イントロダクション（講義概要）	講義
2	倫理「学」の対象	1. 倫理的行為と倫理的判断 2. 倫理（学）と法（学）の区別 3. 看護倫理・生命倫理の対象	
3	行為の善悪と幸福の最大化	1. 功利主義の歴史 2. 功利主義の長所と短所	
4	行為の善悪と動機の純粋さ	1. 義務論の歴史 2. 義務論の長所と短所	
5	行為の善悪と有徳さ	1. 徳倫理学の歴史 2. 徳倫理学の長所と短所	
6	行為の善悪と社会的平等	1. 現代の正義論の展開 2. 正義論的思考の日常への応用	
7	行為の善悪を観察するとは	1. メタ倫理学の展開 2. メタ倫理学的思考の日常への応用	
8	中間総括	1. 第7回までの内容の総括 2. 学期末試験についての説明	
9	倫理学の重要概念の検討①：自由	1. 「自由」とは何か 2. 「自由」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答	
10	倫理学の重要概念の検討②：人権	1. 「人権」とは何か 2. 「人権」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答	
11	倫理学の重要概念の検討③：尊厳	1. 「尊厳」とは何か 2. 「尊厳」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答	
12	倫理学の重要概念の検討④：信頼	1. 「信頼」とは何か 2. 「信頼」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答	
13	倫理学の重要概念の検討⑤：ケア	1. 「ケア」とは何か 2. 「ケア」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答	
14	倫理的問題の解決のための思考法と技術	1. 倫理的思考法（第13回までの総括） 2. 倫理的思考をより正確に行う技術 3. 模擬試験	
15	単位認定試験　まとめ		

評価方法	授業参加状況・レポートほか		
使用ﾃｷｽﾄ	プレップ倫理学　弘文堂＜参考文献＞『入門・倫理学』、赤林朗ら編、勁草書房、2018年　他		
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

科目名	人間関係論	対象学生・時期	1年生・前期
		講義時間（単位）	30時間（2）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 人間関係形成の基礎を理解する 2. 人間関係を発展させるコミュニケーション技法を学ぶ		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	コミュニケーション	1. コミュニケーションの意義 2. コミュニケーションの構成要素と種類 3. コミュニケーション技法 1）カウンセリング 2）コーチング 3）アサーティブネス	講義
2	看護における人間関係	1. 闘病生活を支える人間関係 2. 家族の人間関係と看護師の関わり	
3	社会的相互役割と社会的役割	1. 社会的相互作用 2. 社会的役割	
4		3. 援助的役割を実現するためのガイドライン	
5	人間存在と人間関係	1. 人間関係のとらえ方の次元 2. 人間関係の基本的意義 3. 看護ケアや社会福祉援助における人間関係のとらえ方	
6		4. 人間関係の発達 1）現代社会と人間関係 2）人間関係分析の視点 3）自己理解と他者理解 4）援助的人間関係	
7		5. 自己理解と他者理解	
8		6. 闘病生活を支える人間関係 1）患者家族と保健医療従事者 2）疾病各期における人間関係	
9	終末期の患者と家族を支える人間関係	1. 終末期にある患者の心理プロセス 2. 悲嘆のプロセス 3. 終末期にある患者の人間関係の変化 4. 患者との相互関係の構築とケア	
10			
11	カウンセリング	1. カウンセリングに関する理論と実践 2. カウンセリング演習 3. 創造的人間関係とワーク	講義 演習
12			
13			
14			
15	単位認定試験 まとめ		

評価方法	筆記試験　レポート		
使用ﾃｷｽﾄ	系統看護学講座　人間関係論　医学書院		
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

科目名	英語 I	対象学生・時期	1 年生・後期
		講義時間（単位）	15 時間（1）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 日常場面における、基礎的な英会話を学ぶ		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	・看護・医療の現場における英会話 ・医療現場で必要な英単語 Listening and Dictation	テキストの使い方、英語学習の進め方・取り組み方などの説明 Unit 1　電話予約 基礎文法　動詞　現在形　会話練習 1	講義
2		Unit 2　受診手続き Human body 1 人体 基礎文法　動詞　過去形　会話練習 2	
3		Unit 3　診察の順番待ち Human body 2 人体 基礎文法　動詞　未来形　会話練習 3	
4		Unit 4　再診 Human body 3 臓器 基礎文法　動詞　進行形　会話練習 4	
5		Unit 5　入院の指示 Medical Terminology I 基礎文法　現在完了　会話練習 5	
6		Unit 6　入院手続き Medical Terminology II 基礎文法　現在完了　会話練習 6	
7		Unit 7　患者に質問 Unit 8　入浴の許可 試験についての説明	
7.5	単位認定試験		

評価方法	単位認定試験		
使用ﾃｷｽﾄ	『New 20 Healthcare Dialogs』鷹書房弓プレス		
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

科目名	英語Ⅱ	対象学生・時期	2 年生・前期
		講義時間（単位）	15 時間（1）
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 看護の場における基礎的な英会話を学ぶ		

回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	医療・看護の現場に基づく英文読解・英文音読 文法・会話	Unit 9　薬の指示 基礎文法　助動詞１　会話練習 1 Medical Terminology	講義
2		Unit 10　検査の指示 基礎文法　助動詞２　会話練習２ Medical Terminology	
3		Unit 11 Internal Medicine 基礎文法　疑問文１　会話練習３ Medical Terminology	
4		Unit 12 Surgery 基礎文法　疑問文２　会話練習４ Medical Terminology	
5		Unit 13 Pediatrics 基礎文法　受動態１　会話練習５ Medical Terminology	
6		Unit 15 Ophthalmology 基礎文法　受動態２　会話練習６ Medical Terminology	
7		Unit 17 Obstetrics and Gynecology 試験についての説明	
7.5	単位認定試験		

評価方法	単位認定試験		
使用ﾃｷｽﾄ	『New 20 Healthcare Dialogs』鷹書房弓プレス		
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

<table>
<tr><td rowspan="2">科目名</td><td colspan="2" rowspan="2">健康科学</td><td>対象学生・時期</td><td>1 年生・前期</td></tr>
<tr><td>講義時間（単位）</td><td>15 時間（1）</td></tr>
<tr><td>講師名</td><td colspan="4">非常勤講師</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="4">1. 健康維持にとってのスポーツの役割を理解する
2. 健康な生活を送るために必要な身体運動の実際を学ぶ</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">主な学習内容</td><td>授業形態</td></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="2">健康づくりと運動</td><td colspan="2">1. 運動の目的
2. 健康管理と運動</td><td rowspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">3. 発達段階・性別・経験にあわせた運動の必要性
4. 運動の種類と効果</td></tr>
<tr><td>3</td><td rowspan="5">実際の運動</td><td colspan="2">1. 自分の身体と向き合おう
2. ストレッチ
3. 簡単トレーニング （ピラティス）</td><td rowspan="5">実技</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2" rowspan="2">4. 簡単球技 （バレーボール）</td></tr>
<tr><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="2" rowspan="2">5. 簡単球技 （バスケットボール）</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>7.5</td><td>単位認定試験</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>使用ﾃｷｽﾄ</td><td colspan="4">資料配布</td></tr>
<tr><td>自己学習時間</td><td>30 時間</td><td>事前・事後学習</td><td colspan="2">テキストで事前学習・事後学習を行う。</td></tr>
</table>